

学童期の耳・関節部症状から長期経過を経て社会人生活に至った小児アトピーの経過 (22 歳女性)

症例 ID：001-20-YK3 | 記録日：2014 年 11 月 30 日

1. 診断・治療前経過

小学校低学年頃、耳から浸出液が出るほど症状が強くなり、髪を短く切り、水泳を中止しました。膝や肘の裏側にも強い症状がありました。

複数の皮膚科で外用薬と内服薬を使用しましたが、一時的に軽くなるものの症状を繰り返し、数年後に松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	皮膚科で外用薬と内服薬を使用しました。ステロイドであった可能性がありますが、薬剤名は確認できません。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	小学校低学年頃から数年間です。
中止時期	松本医院受診時です。
来院前／後	来院前に薬剤使用歴があります。来院後は従来薬剤を使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小学校低学年頃	発症	耳の浸出、膝裏と肘内側の症状が強くなりました。
その後数年間	治療継続	複数の医療機関で外用薬と内服薬を使用しました。
松本医院受診	治療開始	従来薬剤を中止し、煎じ薬と漢方入浴を開始しました。
治療初期	症状の強い時期	従来薬剤中止後に強い皮膚症状が出ました。
長期経過	皮膚の変化	症状が徐々に軽くなり、通院回数も減りました。
成人後	生活変化	顔や体に目立つ痕を残さず、アトピー症状がなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、小学校低学年頃に耳から浸出液が出て、膝や肘の裏側にも強い症状があり、水泳を中止した時期と、治療開始初期に皮膚症状が強く出た時期です。

5. 困りごと

- 耳の浸出が強く、髪を短くする必要がありました。
- 習っていた水泳を中止しました。
- 長期間にわたり複数の医療機関を受診しました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中の記録として掲載しています。

(1) 経過中の皮膚画像



2001年12月3日。症状がみられた時期の記録。



2001年12月3日。症状がみられた時期の記録。

7. 経過のまとめ

治療初期の強い症状を経た後、皮膚状態は徐々に変化し、通院回数も年々減りました。
成人した現在はアトピー症状がなく、社会人として愛知県で生活しています。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。